

## 稲田さんが開発した「ポワールリフティング」の物語

40年前から美を探求していた稲田さんは、美容業界の現状に納得されていませんでした。当時は施術効果がほどほどで、理論的な裏付けがないような施術がまかり通っていたからです。

そこで、彼女は、①安心安全でノーリスク、②理論がしっかりして納得ができる、③効果がきちんと認められる、という理想のフェイシャルリフティングを追い求めて、フランス、イタリア、スイス、アメリカ、上海など世界中のリフティングを受けて叡智を吸収していきました。

ポワールリフティングの誕生のきっかけは、有名なハリウッド女優の希望でした。その女優が顔面神経麻痺の治療をヒントに美容に応用することを切望し、カイロプラティックの権威ある博士が機器を開発したのです。その機械は30年前に日本に入ってきたのですが、あまり広がりませんでした。その当時の米国製の機械は出力が弱く、周波数の調整もできない粗悪品だったからです。

しかし、この施術の可能性を見抜いていた稲田さんは、自らこの機器を改良して問題点を克服していきました。なぜこのようなことが出来たかという、稲田さんは電気屋の娘だったからです。父親（稲田電治氏）から電気について幼少期の頃から学んでいたのが機器の改良ができたのです。そして、稲田さんはこの新しい機器を使った施術に、フランス語で「展望」という意味も持つ「ポワール」と「リフティング」を組み合わせ、「ポワールリフティング」と名づけました。



ポワールリフティングを始めると効果を実感する方が多く、どんどんと口コミで広がっていき、とうとう全国から問い合わせが殺到するようになりました。

稲田さんは皆さんの要望に応えるために、スクールを開設して全国の方が施術を受けやすい環境を整えることに尽力していきます。大手の美容関連の2社から買収の提案もありましたが、この技術を正確に伝えていくためには、ただ機械を売り飛ばしっぱなしにしてはいけないと考え、買収の提案をお断りされたそうです。

その後の活躍は目覚ましく、上海の一等地にあるエビアンスパでポワールリフティングの導入が決まりイベントを開催されたり、タイのバンコクで、心疾患を抱える小児に対する寄付金を集める財団のロータリークラブから招待されて、ポワールリフティングの施術を行ってきました。

もともとは顔面神経麻痺の治療に使われていた技術を応用したもので、お客さんのなかには顔面神経麻痺で苦しんでいる方もいらっしや、この施術で効果を実感して喜ばれています。

稲田由美子さんが40年にわたり研究して完成した「ポワールリフティング」。岡崎では「岡崎ゆうあいクリニック」でしか受けることができません。

そして、顔面麻痺の治療方が病院で確立されていない現状で、顔面麻痺に悩まれている全国の方の為に取り組んでいきたいと考えています。

是非、稲田さんのこだわり抜いた研究の成果であるポワールリフティングをお試しください。

